



Yamaga Medical Center



発行所 山鹿市民医療センター 〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地 TEL 0968-44-2185(代) FAX 0968-44-2420

## 令和2年 院内感染・医療安全対策委員会合同研修会の開催

令和2年11月4日・5日・6日の3日間で、「インフルエンザ流行期における新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策をみんなで考えよう！」をテーマに、院内感染・医療安全対策委員会合同研修会を開催しました。

今回は、感染防止策を徹底した中での研修会開催ということで、参加者数を制限するため、事前に各部署でグループワークを行い、各グループの代表者が研修会に参加する形で研修会を開催しました。

事前グループワークは、発熱等の感冒症状がある患者への対応について、様々な場面での感染リスクや感染対策について検討したものを記録して提出することになりました。

研修会当日は、各部署グループの代表者でグループを編成し、グループワーク方式で研修会を開催しました。内容は、入院中の患者が発熱し、SARS-CoV-2 PCR検査の結果陽性であったという事例について、受付や外来での問診、COVID-19患者の病室移動や心肺蘇生時の対応、また、（濃厚）接触者の対応について、グループで検討・発表を行いました。

個人用防護具（PPE）の着脱について、人形とPPEをそれぞれ形どったパネルを使用し、COVID-19患者、疑似症患者、濃厚接触者の対応時に必要なPPEの選択、着脱のタイミングと着

脱の順序についてグループ発表を行いました。

異なる部署の代表者でグループを編成し、事例検討を行ったことにより、他部署との意見交換や情報共有など、他部署との連携についても考える機会になったと思います。また、参加者から「今後、インフルエンザの流行する中でのCOVID-19対応について、正しい知識で対応していきたい。」「PPEについても再確認できた」という意見が聞かれました。

今後、職員一人ひとりが感染対策を徹底し、全職員一丸となり院内感染防止対策に努めていきたいと考えます。

（文責：医療安全管理室 辻崎 小百合  
感染制御室 廣瀬 憲一）



グループワークの様子

### 基本理念

いのち

## 地域住民の生命と健康への貢献

### 基本方針

#### 山鹿市民医療センターは

- ① 患者さま中心の信頼される医療を行います
- ② 診療機能の充実に努め、質の高い医療を提供します
- ③ 地域の保健、医療、福祉の連携を推進します
- ④ 研修、研鑽に努め医療レベルの向上を図ります
- ⑤ 健全経営に努めます

## CONTENTS

院内感染・医療安全対策委員会合同研修会	… P 1
看護部地域健診室ポスターセッション	……… P 2
熊本県がん診療連携協議会セミナー	……… P 2
医療最前線	……… P 3
外来担当医表（12月）	……… P 4

# 第28回日本乳癌学会学術総会で演題発表を行いました

日本乳癌学会学術集会は年1回開催されていますが、今年度は感染対策のため、令和2年10月9日から31日までのWeb開催となりました。その学術集会で、当センター地域健診室保健師として「看護師を対象とした乳がん検診の啓発」を「検診・予防」のセクションでポスター発表しました。

当地域健診室では市町村や各種保険団体からの委託を受け、年間400件以上の乳がん検診を実施しています。乳がん検診で要精密検査となり乳がんの診断を受けた方から、「もっと早く定期的に検診を受けておけばよかった」等の相談を受けることもありました。また、当センターの看護師からも「乳がん検診を受けたことがない、受け方が分からない」という声があり、働く世代の看護師へ乳がん検診を啓発したいと考えました。

まず、アンケートを実施し、受診率や知りたい情報等を把握しました。その結果を基に乳がん検診の受け方に関するパンフレットを作成して、院内での職員健診時に、パンフレットと乳がん模型を使用して乳がん検診を啓発し、休憩時間や勤務終了後に乳がん検診を受けられるよう他部署と連携し体制を作りました。その結果、院内で乳がん検診を受けた看護師は例年より増加しました。

今回、看護師を対象にアンケートを行った事で、意見を反映したパンフレットの作成や啓発の方法を検討し、実施することができました。今後も疾患の発症や重症化を予防する立場としての使命感を持ち、がん検診を定期的に受けられるように支援していきたいと考えています。

(文責：地域健診室保健師 原 沙織)

**演題番号：看護師を対象とした乳がん検診の啓発 P-15-35**  
発表者名：原 沙織、豊福 真子、柴田 佳代、末田 愛子 所属：山鹿市民医療センター

**【1.背景・目的】**  
A病院 健診室 市町村や各種保険団体からの委託を受け、マンモグラフィによる乳がん検診を実施（年間500件以上）  
～乳がんの診断を受けた方からの相談～  
「もっと早く検診を受けておけばよかった・・・」  
「定期的な検診を受ける習慣をつけておけばよかった」  
自分自身：保健師・プレストアチーム所属  
・年代別で検診の頻度が違う（エコー、マンモグラフィ）  
・職種の健診とがん検診は異なる 等を取った

**【2.研究方法】**  
1) 対象者：A病院女性看護師 143名  
2) 実施期間：令和元年7月～令和2年2月  
3) データ収集及び実施方法  
(1) 実態調査：看護師が乳がん検診を受けているか  
【アンケート内容】  
・年代別受診の有無  
・未受診の理由  
・乳がん検診で知りたい情報  
・市町村の実施しているがん検診について  
(2) 乳がん検診の啓発  
①パンフレット作成 ②情報提供 ③乳がん検診受検啓発  
4) 協働的配慮：個人が特定されないよう無記名のアンケート啓発の参考等以外に使用しないと書面に記載  
本研究は山鹿市民医療センターの承認を得た。  
(承認番号 P01-06)

**【3.結果】**  
1. 対象の背景  
対象者 143名中、129名回答（回答率：90.2%）  
回答した看護師の内訳  
20代：15名 30代：33名 40代：52名 50代：31名  
2. 乳がん検診について実態調査（n=129）  
乳がん検診 受診者 87名（67%） 未受診者 42名（33%）

3. 乳がん検診受検啓発  
乳がん検診に関するアンケート実施後、対象者から相談が増加  
「乳がん検診のことをもっと知りたい」  
「受けたいけど、自分のこととして考えなければいけないと思った」  
相談内容に対応するため、実態調査と調査 → 実施に協力

**【4.考察・結論】**  
1) アンケートを実施したことで乳がん検診受診率を把握でき、年代別に啓発の方法を検討することができた。  
2) 乳がん検診に関する相談やA院内で乳がん検診を受ける職員が増加したのは、アンケートの実施と併せても啓発の結果があったと思われる。  
3) 好発年齢より前の20～30代の時期に、検診の受け方や自己検診の啓発を啓発することは、検診受診率の向上や早期発見につながると思われる。今後も職員のニーズに合わせて、働きながらがん検診を定期的に受けられるよう、さらに体制を整えていく必要がある。  
4) 今後は女性看護師に限定した取り組みであり、今後は健診部門として他部署の職員にもがん検診を積極的に啓発していく。

**発表用ポスター**

## ご案内

### 令和時代のがん診療と「私のカルテ」～ウィズコロナの今～

熊本県がん診療連携協議会セミナー 令和2年度県民公開講座

**日時** 令和2年12月13日(日) 13時00分～15時00分

**定員** 先着150名程度

**会場** くまもと県民交流館パレア (テリアくまもと10階ホール) 熊本市中央区手取本町8-9 TEL.096-355-4300

**プログラム**

- 〈開会挨拶〉 13:00～13:15
- 〈講演1〉 13:15～13:45 大人のがん教育～がんを知ること～
- 〈講演2〉 13:45～14:15 ウィズコロナ時代のがん診療拠点病院の立ち上げ
- 〈講演3〉 14:15～14:45 人吉・球磨豪雨災害におけるがん医療と相談支援
- 〈講演4〉 14:45～14:55 「私のカルテ」の紹介
- 〈開会挨拶〉 14:55～15:00

**サテライト会場**

- ◆阿蘇都市医師会 …………… 〈10名〉
- ◆山鹿市民医療センター …… 〈30名〉
- ◆熊本労災病院 …………… 〈30名〉

**お申し込み方法**  
電話、ファックス又はメールで熊本大学病院 医療サービス課 地域・がん医療連携担当までお申し込みください。  
なお、お申し込み方法の詳細については、裏面をご確認ください。

**TEL: 096-373-5734**  
**FAX: 096-373-5828**  
mail: iyks-chiiki@jimu.kumamoto-u.ac.jp

申込締め切り日 令和2年11月30日(月)

当日のインターネット環境に不具合が生じる可能性があります。あらかじめ、ご了承くださいませようお願いします。

主催：熊本県がん診療連携協議会相談支援・情報連携部会  
後援：熊本県、熊本県医師会、熊本市民医師会、熊本県薬剤師会、熊本県病院薬剤師会

（熊本県がん診療連携拠点病院）熊本大学病院  
http://www.kuh.kumamoto-u.ac.jp/

## 医療最前線 (128)



### 高血圧最前線

循環器内科医長  
清水 博 先生

高血圧患者は全国で約4300万人と推定されています。

高血圧は、はっきりとした自覚症状が出ないものの、脳梗塞、心筋梗塞、心肥大、心房細動、大動脈解離、脳動脈解離など多数の重篤な疾患の危険因子となっています。このような死につながる心血管疾患を予防する観点から、生活習慣病の中でも最も重視する必要がある疾患の一つと言えます。

高血圧の治療法としては現在、薬物療法、食事療法、運動療法などがありますが、内服治療を十分に行っても糖尿病、慢性腎臓病、肥満に関連した臓器障害によってコントロールできない患者さまがいます。このような、異なるクラスの3種類以上の降圧薬を使用しても目標血圧まで下がらない「治療抵抗性高血圧」ですが、降圧治療を受けている患者さまの少なくとも10%が該当すると推定されています。

現在、このような治療抵抗性高血圧を有する患者さまを対象に、腎デナベーション法の治験が行われています。高血圧の原因は様々ですが、交感神経が活発となることが主な原因の1つであると考えられています。交感神経は自律神経のひとつで、活動が

亢進（こうしん）すると血管収縮などを招き、血圧上昇を引き起こすことがわかっています。腎デナベーション法は腎動脈内にカテーテルを通して交感神経を焼灼し、その働きを抑制して血圧の上昇を抑える方法です。

実際の治療では足の付け根の動脈から、超音波エネルギーを発生する装置の付いたバルーンカテーテルを挿入し、腎動脈に誘導して腎血管造影で位置を確認しながら、腎動脈の分岐部付近の標的部位でバルーンを膨らませ、超音波エネルギーを発生させることで交感神経を焼灼します。焼灼は2カ所以上実施し、これを左右それぞれの腎動脈で行うものです。

高血圧は複合的な因子で発症する病態であることから、腎デナベーション法で降圧効果が得られたとしても、薬物治療を完全にやめることはできませんが、薬の種類を減らすことが期待でき、医療経済の観点からもメリットのある治療法と言えます。

現在はまだ治験の段階ですが、これから有効性と安全性が実証されることで、少しでも早く国内でも希望する患者さまに提供が可能になると良いと考えています。

### 原稿を募集致します

登録医の先生の投稿を歓迎いたします。400～800字程度を基準とします。

送付先 〒861-0593 山鹿市山鹿511番地 山鹿市民医療センター 地域医療連携室

ホームページをご利用下さい。病院の最新情報をご覧になれます。

<http://yamaga-medical-center.jp>

## 外来担当医表

12月

診療科名	月	火	水	木	金
呼吸器内科	※御任 玲美	※猪山 慎治	※後藤 英介	—	※後藤 英介
腫瘍内科	—	—	—	—	宮本 英明
消化器内科	池邊 賢一 (本原 利彦)	富口 純	本原 利彦	池邊 賢一 (富口 純)	本原 利彦
内分泌・代謝内科	川崎 修二	—	川崎 修二	—	川崎 修二
循環器内科	大庭 圭介 清水 博	大庭 圭介 清水 博	清水 博 大庭 圭介	※海北 幸一 清水 博/大庭圭介	大庭 圭介 清水 博
整形外科 (紹介外来制)	高木 茂 横田 秀峰 浦上勝/石松憲明	工藤 智志 浦上 勝 石松 憲明	手術 (担当医)	高木 茂 工藤 智志 横田 秀峰	手術 (担当医)
外科	別府 透 佐藤 伸隆	手術 (担当医)	別府 透 赤星 慎一	手術 (担当医)	別府 透 山村 謙介
乳腺外科	—	※末田 愛子	—	—	—
泌尿器科	—	※穴見 俊樹	—	※非常勤医師	—
小児科	※石井 真美	—	※石井 真美 予防接種(午後)	※石井 真美	—
セ ン タ ー 器 器	耳鼻咽喉科	—	※非常勤医師	—	※非常勤医師
	眼科	正林 耕平	正林 耕平	正林 耕平	正林 耕平
産婦人科	福島 泰斗	福島 泰斗	福島 泰斗	福島 泰斗	福島 泰斗
	※片渕美和子(午後) 12/1(火)、8(火)、10(木)、15(火)、22(火)、24(木)				
総合診療科	吉岡 明子	—	吉岡 明子	—	吉岡 明子
救急外来	外科医(午前) 整形外科医(午後)	担当医	担当医	担当医	外科医(午前) 担当医(午後)
健診	豊永 政和 富口 純	豊永 政和 池邊 賢一	豊永 政和 富口 純	豊永 政和 富口 純	豊永 政和 池邊 賢一

◎診療時間は、8:30開始で11:00受付終了となります。予約変更の電話は、午後2時から5時までにお願いします。

◎小児科診療時間は9:00から16:30(受付は16:00)迄となります。予防接種は水曜日の午後に完全予約制となります。

※は、熊本大学病院等からの非常勤医師です。

## 特殊・専門外来

12月

名称	担当医等	実施日	診察場所
緩和ケア外来(予約制)	佐藤 伸隆	毎週 月曜・水曜(11:00~12:00)	Bブロック
禁煙外来(予約制)	坂田 和子	毎週 月曜(午後)	Aブロック
睡眠時無呼吸外来	坂田 和子	毎週 火曜・木曜(午後)	
小児科予防接種	※石井 真美	毎週 水曜(受付時間13:30~15:30)	Bブロック
ストーマ外来	担当医	毎月 第3水曜(午後)	
女性外来(婦人科、思春期、更年期)	※片渕美和子	12/1(火)、8(火)、10(木)、15(火)、22(火)、24(木)	
PEG外来	担当医	隔週 第2・4水曜(午後)	5階病棟
両親学級(予約制:産婦人科)	助産師	第2・第4木曜日(13:30~15:30) ※産婦人科へお尋ねください。	
セカンドオピニオン外来(予約)	各専門医が担当します。詳細はホームページをご覧ください。 予約については地域医療連携室にお尋ねください。		

◎特殊・専門外来については、各診療科にお尋ねください。

◎急患の場合は、この限りではありません。

ご注意：学会等の都合で変更になる場合があります。

◆最新の担当表は、ホームページをご覧ください。

山鹿市民医療センター

〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地  
TEL(代表)0968-44-2185 FAX 0968-44-2420  
<http://yamaga-medical-center.jp>